

5	昭51. 6. 9	各国出生率の動向と問題点……………濱 英彦 技官
6	昭51. 6. 16	人口移動からみた地域の特性……………内野 澄子 技官
7	昭51. 6. 23	Ecosystemをめぐる諸問題について……………篠崎 信男 技官
	ク	ヨーロッパの現状——性問題・家族計画・人口問題—— (デンマーク, スウェーデン, 西ドイツ, イギリス, フランス) ……………篠崎 信男 技官
8	昭51. 6. 30	国勢統計区の資料よりみた東京……………河邊 宏 技官

第 28 回 日 本 人 口 学 会 大 会

日本人口学会の第28回大会は、昭和51年6月4日(金)、5日(土)の両日にわたり、千代田生命保険相互会社(東京都目黒区)の会議室において開催された。今回の大会は、明治学院大学畑井義隆教授を委員長とする大会準備委員会の多大の努力によって、盛大な大会日程を終了した。会員参加者は100名を超え、本研究所からも多数の関係者が出席した。

大会プログラムは下掲のごとくであるが、本年は学会役員の改選期に当たり、大会直前に行なわれた選挙によって新役員(理事・監事)が選出され、新理事の互選により森田優三氏が新会長に選出され、それぞれ総会において承認された。また、かねて辞意を表明されていた前会長寺尾琢磨氏は、永年同学会に尽くされた功績をたたえられ、総会において名誉会員に推薦された。

総会において承認された新役員(任期2年)を示すと次のとおりである。

会 長	森 田 優 三 (亜細亜大学教授)
常 務 理 事	曾 田 長 宗 (国立公衆衛生院顧問)
	上 田 正 夫 (元・人口問題研究所長)
	黒 田 俊 夫 (日本大学教授)
	篠 崎 信 男 (人口問題研究所長)
理 事	小 林 和 正 (京都大学教授)
	畑 井 義 隆 (明治学院大学教授)
	青 木 尚 雄 (人口問題研究所人口政策部長)
	村 松 稔 (国立公衆衛生院衛生人口学部長)
	岡 崎 陽 一 (人口問題研究所人口情報部長)
	安 川 正 彬 (慶応義塾大学教授)
	吉 田 忠 雄 (明治大学教授)
監 事	三 原 信 一 (武蔵野女子大学教授)
	山 口 喜 一 (人口問題研究所人口政策部政策科長)

研究発表会において行なわれた報告の題名および報告者を掲げると次のごとくである。

第1日(6月4日)

◇ 一 般 報 告

1. サミュエルソンの最適人口成長率について……………高木 尚文(成城大学)
2. 移動の効用函数を導入した地域的人口変動モデルの検討……………鈴木 啓祐(流通経済大学)
3. 1920~1975年間における日本の市制都市の人口変動率……………岸本 実(立正大学)
4. DID人口の遡及推計(1888~1955)……………大友 篤(総理府統計研修所)
5. 人口と食糧の長期的検討……………畑井 義隆(明治学院大学)

6. 明治期におけるわが国の人口と農産物……………飯淵 康雄 (東京医科歯科大学)
7. 職業群別標準化出生率……………植松 稔 (北里大学)
8. 国勢調査における年齢別人口の完全性について……………伊藤 達也 (人口問題研究所)
山本千鶴子 (〃)
9. 昭和50年国勢調査全国速報集計結果について……………水野 坦 (総理府統計局)
山上 博美 (〃)
10. 「ライフ・サイクルに関する人口学的調査」の概報……………中野 英子 (人口問題研究所)
11. 1974年世界出生力調査と第6次出生力調査との比較研究……………竹崎 勁彦 (厚生統計協会)
古谷 博子 (厚生省統計情報部)
12. 最近における出生力経済理論の発展……………大淵 寛 (中央大学)

◇ 特別講演

- 戦後日本の人口政策の変遷……………寺尾 琢磨 (慶応義塾大学)

◇ 一般報告

13. 出生率の将来を見通す方法について……………岡崎 陽一 (人口問題研究所)
14. 明治・大正年間の人口動態率推計……………安川 正彬 (慶応義塾大学)
15. 1899年出生集団のコーホート生命表……………安川 正彬 (慶応義塾大学)
広岡桂二郎 (日本医師会)
16. 配偶関係別年齢集団の婚姻動態(1965年)……………山本 文夫 (佐賀大学)
17. 小笠原島混血者の配偶選択とその人種像……………木村 正文 (国立公衆衛生院)
18. ポリビアの日本人移民の出生力について……………柏崎 浩 (東北大学)
鈴木 継美 (〃)
19. 在ポリビア沖縄移民の背景とその転住……………鈴木 継美 (東北大学)
柏崎 浩 (〃)
20. 鯨のデモグラフィ……………菱沼 従尹 (第百生命保険)

第2日(6月5日)

◇ 一般報告

21. 人口政策の地域住民への普及過程……………岡田 真 (駒沢大学)
22. 社会主義諸国の人口政策……………石 南国 (函館大学)
23. 東欧圏諸国の人口政策について……………室 三郎 (人口問題研究所)
24. 人口の計画分散のためのアプローチ……………佐々木 宏 (盛岡短期大学)
25. 人口調節と生命尊重……………長倉 功 (寿命学研究会)

◇ シンポジウム『人口政策の基本問題』……………<座長> 曾田 長宗 (国立公衆衛生院)

研究報告

1. 総括 ——人口政策の動向と体系化——……………黒田 俊夫 (日本大学)
2. 社会的見地から……………富田富士雄 (関東学院大学)
3. 経済的見地から……………大淵 寛 (中央大学)
4. 医学的見地から……………小泉 明 (東京大学)

討 論

1. 社会的見地から……………吉田 忠雄 (明治大学)
2. 経済的見地から……………加藤 寿延 (亜細亜大学)
3. 医学的見地から……………小林 和正 (京都大学)

(山口喜一記)